

2026年 新年のご挨拶



日本脊椎脊髄病学会 理事長 中村雅也

新年明けましておめでとうございます。

日本脊椎脊髄病学会の会員の皆様におかれましては、健やかに2026年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より本学会の活動ならびに運営に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

理事長を拝命してから2年目を迎えました。本学会の目的である「脊椎脊髄疾患に関する基礎研究および臨床研究を促進し、学術集会の開催を通して研究成果の発表と交流を図り、人類の健康の保持・増進に寄与する」ことの達成に向け、昨年も引き続き、①学会の安定的かつ持続的な成長、②安心・安全な脊椎脊髄疾患治療のエビデンス構築、③次世代を担う人材育成、④国際化の推進と海外関連学会との連携強化、の4つのアクションプランを軸に活動を進めてまいりました。

学会運営および人材育成の面では、会員数の増加傾向が維持され、学術集会においても活発な研究発表と活発な議論が行われ、本学会の学術的基盤が着実に強化されていることを実感しております。また、脊椎脊髄疾患治療に関するデータベース事業においては、悉皆性の高いリアルワールドデータの蓄積が進み、それらを活用した研究プロジェクトが具体的に動き始めました。これらの成果を通じて、臨床現場に還元可能なエビデンス創出を一層推進してまいります。国際連携の面では、これまでのNASS、KSSS、TWSS、APSS、Euro Spineとの協力関係を基盤として、学術交流や人的交流のさらなる深化を目指してまいります。国際的な視点を取り入れることで、本学会の学術的プレゼンスを一段と高めていきたいと考えております。

本学会のさらなる発展のため、今後も微力ながら全力を尽くしてまいります。2026年も、会員の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。